

単機関研究用

研究課題名：動画視聴による骨盤底筋体操指導の効果に関する調査研究

1. 研究の対象

前立腺癌に対し当院でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術（RARP）を受ける予定で、2024 年 11 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までの期間に骨盤底筋体操の動画を視聴し対面での指導を受けた方

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

前立腺癌に対する RARP の術後合併症として、腹圧性尿失禁が多く見られます。尿失禁予防として骨盤底筋体操は『がんのリハビリテーション診療ガイドライン第 2 版(2019)』で推奨されている他、手術前から骨盤底筋体操の指導を受け自宅でも定期的に体操を行った方は、そうでない方と比較し、術後の尿失禁量が減少したとの報告もあります。

当院では、2022 年度より医師・看護師・理学療法士の多職種で連携した排尿自立支援チームが発足し、骨盤底筋体操の重要性を意識した指導に取り組んでおります。患者さんにわかりやすく、実践しやすいような当院オリジナルの骨盤底筋体操動画を作成し、動画を元にした骨盤底筋体操の指導を行っています。

本研究では、骨盤底筋体操の指導（動画を元にした対面指導）による理解度や実践率を評価し、より効果的な指導方法を検討することを目的としております。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2028 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者 ID（情報管理に使用）、年齢、性別、身長、体重、診断名、進行度、内服薬、既往歴（合併症）、IPSS（国際前立腺症状スコア）、OABSS（過活動膀胱症状スコア）、骨盤底筋体操動画視聴後アンケート結果、排尿記録、ウロフロメトリー結果、採血結果（PSA）、画像検査結果（残尿エコー、腹部エコー、MRI）、病理組織診結果、術前のホルモン療法実施状況、術中所見（手術時間、コンソール時間、出血量、術中合併症、神経温存の有無・有の場合その温存側、摘出重量）、骨盤底筋体操実施状況、術後尿失禁の有無および程度

試料：本研究では試料は収集しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人
の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出く
ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501
佐賀県佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号
佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科
担 当 者：泌尿器科 川崎 麻己
電話番号：0952-34-2344

《研究責任者》

佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 野口 満

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別でき
ないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を
講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より 2028 年 12 月 31 日までの間、研究対象となる患者さ
んへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載して
いるものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研
究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHP では、佐賀大学医学部附
属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。